**ハンドマイク街頭演説原稿例　　　入管法廃案・コロナ収束・都議選**

二〇二一年五月一九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、名古屋の入管施設で亡くなったスリランカ人女性への国の対応に、国民の批判が急速に広がるなか、自民党が入管法改定案について今国会での成立を断念する方針を表明しました。反人権的な出入国管理制度をさらに改悪する同法案は事実上の廃案となります。この間の国民世論の広がりと国会での野党共闘の大きな勝利です。理由を問わず在留資格を失った外国人を全て収容し、劣悪な施設のなかに長期間留置する。前近代的な入管制度そのものの転換が強く求められます。日本共産党は、入管制度の問題を解決し、すべての外国人の人権が尊重される共生社会の実現へ引き続き力を尽くしていきます。

　みなさん、コロナ変異株が猛威をふるうなか、東京都などの緊急事態宣言が５月末まで延長されました。北海道、岡山、広島も追加され、緊急事態宣言は９都道府県に拡大されました。埼玉県も、東京都での感染拡大の影響もあり、２００人前後とじわじわと感染者がふえています。この一年あまり、「後手後手」「迷走」を続けてきた自公政治の責任であり、まさに菅政権による人災です。高齢者へのワクチン接種の混乱が続くなど、このままではコロナ収束はまったく見通せません。

では、コロナ危機にどうたちむかうのか。まず「コロナの感染拡大やむなし」という政治の姿勢を根本からあらためるべきです。コロナを封じ込めてこそ国民の命と暮らし、日本の経済を守ることができる。このように「コロナ封じ込め」を国の戦略目標に明確にすえたうえで、日本共産党は次の「３つの柱」で政府が責任を果たすことを強く求めます。第一は、ワクチンの安全・迅速な接種に国が責任を負うことです。第二は、大規模検査を文字通り実行し、感染を徹底的に封じ込めることです。第三は、営業への十分な補償と国民への生活支援を行うことです。あわせて、医療機関への減収補てんなど医療体制の強化、コロナ対策と両立しない東京オリンピック・パラリンピックは中止することを国に強く求めていきます。

　みなさん、お隣の東京都では、７月４日投開票で東京都議会議員選挙がたたかわれます。日本共産党は、５月１２日現在で２９人の都議候補を擁立し、全員当選めざし奮闘しています。都内へは埼玉から毎日９３万人が通勤・通学し、都内在住の家族や知人がいる方も少なくありません。今度の都議選の結果は、みなさんの仕事やくらしに少なからず影響が与えることになります。共産党都議団の躍進は、職場での社会的検査の拡大など都独自のコロナ対策の充実、小池都知事の東京五輪の中止決断へ大きな力となります。そして、何よりも、来るべき総選挙に向けた政権交代への野党共闘の深化に大きなインパクトをあたえるのではないでしょうか。今度の都議選では、みなさんの大きなご支援を日本共産党にお寄せいただきますようよろしくお願いします。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）